
よくあるリリカルな世界の話～二羽の鴉～

イザナギ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よくあるリリカルな世界の話〜二羽の鴉〜

【Nコード】

N3220Z

【作者名】

イザナギ

【あらすじ】

白い鴉は嫌われ者、群れから追い出されてぶーらぶら。あてもなく飛んでく根無し草。白い鴉は嫌われ者、友達なんてできやしない。でも、ずっとぶらぶらしていたら、ある時ある世界でとある人々に出会ってしまった。その人々は鴉を「噂もなにも関係ない」って受け入れた。鴉の心には一つの思い。『恩返しを』

鴉は今日も飛んでいく。助けてくれた『彼ら』のために。命を救った『彼女ら』のために。自分のできる限りの恩返しを。

動物が主人公というわけじゃないです、もちろん人間が主役です。
『面白い』と思っていただければ幸い。

Prologue

白い鴉は嫌われ者だ

全身、真っ白

唯一、血のような真紅の瞳

本当は『綺麗だ』って評価されてもおかしくないはずなのに
誰かがふと言ったんだ

「
死神みただな」

ひどい言い様だ

でも鴉は反論したかったけど、できなかつた

だってその鴉の周りで、たくさんの人が死んじゃったんだから

出向く先々で、誰かが死ぬ

鴉に係わった誰かが

ただ仲良くしていただけの誰かが

全く関係の無い、すぐ近くを通りかかった誰かでさえ

たくさんの人が死んだときだって、鴉はそぞ真ん中でピンピンしていた

だから周りのみんなが怖がった

鴉がいる場所で、誰かが死んでたから

いつか鴉が目の前に来たら、自分が死ぬんじゃないかって、怯えた

『白い鴉は厄災を運んでくる 鴉が姿を現したら、厄災が、よくないことが起こる

それじゃあ『現れなくしちゃえ』ば良いんだ』

誰かが言ったんだ

そして鴉は追い出された
みんなの暮らす輪の中から

あまつさえ

かつての仲間は命を奪いに来た

『二度と姿を現せない』ように

けつきよく鴉は殺された

後に残ったのは、やっと飛び方を覚えた雛ひな

白くて小さい羽を何とか羽ばたかせ、子鴉は飛ぶ

胸に大きな悲しみと怒りを秘めて、ふらふらと

白い鴉は嫌われ者 だつたら鴉もみんなを嫌う

みんなが鴉を嘲笑えば、ひそかに鴉もみんなを嘲笑う

みんなが鴉を怨むなら、鴉もみんなを怨む

そして

誰かが鴉を助けてくれたら、鴉も誰かを助けよう

誰かが鴉に手を差し伸べてくれたら、鴉も誰かに手を差し伸べよう

幼い鴉が飛ぶのは、大きく広がる

荒れた空

結局、鴉はあまのじゃく

心の優しい、ただの鴉

『出会い』は『奇跡』

『奇跡』は『希望』

『希望』は『光』

夜はいずれ明ける

鴉は『光』を見つけた

Prologue (後書き)

……なにこれ、詩じゃん。しかも厨二全開の

一回挑戦してみたけどダメだったりりなのに再挑戦。

……まあ原作見ながら、なんで亀更新は決定事項でしょう。

もう一本の連載もありますが、ここから先、多忙になるのであんまり更新できないかも……やるだけやってみますが。

原作に寄せすぎたからなー……前回の反省が生かせればいいけど……

ではっ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3220z/>

よくあるリリカルな世界の話～二羽の鴉～

2011年12月11日04時06分発行